

そよかせたより

2008 7月号

早いもので、もう7月ですね。だんだん気温も暑くなってきました。いよいよ夏本番！といったところですね。

木々の緑やお花、洋服なども原色の濃い色が目立ちてきました。お店に行くとき浴衣や虫よけグッズなどが置いてあり、さまざまなところで夏を感じますね。

そして7月といえば「七夕」。7月7日は雨の日が多い為、天の川が見える年はあまりないですよ。

皆さんは天の川を見たことがありますか？

よく考えてみたら、私は天の川を見たことが一度もないことになり付きました(笑)

と言うより、なぜか学校の給食で七夕の日に出る「天の川ゼリー」という凍ったゼリーの記憶しかないことになり付きました。今年も天気がよくありませんでした。来年に期待したいと思えます。

一言メモ

フラチナ/テクト



全ての**活性酸素を除去**することで話題の、「**白金(フラチナ)ナノコロイド**」配合の口腔内洗浄液。

白金ナノコロイドは滞在している限り、半永久的に活性酸素を除去します。

活性酸素って？

口内炎・歯周病・入れ歯などによる痛みで発生するものです。

活性酸素を除去すれば、痛みの軽減にも。

口腔内を清潔に保つことで、口臭も緩和。

口をすすぐだけで、爽やかさっぱり!!!



フッ素洗口ってなに？

今回のテーマは、フッ素を歯の表面に取り込む方法のひとつである「**フッ素洗口**」です。

最初にフッ素洗口とはどんなことかと思いませんか？簡単に言うとフッ素入りのお水でウガイをすることです。

先月にお伝えしたフッ素塗布は3ヶ月に1回の実施となります。その3ヶ月の間にむし歯にもなることは、少なくありません。

そこで、低濃度のフッ素を使用した家庭で出来る**歯予防**が「**フッ素洗口**」なのです。フッ素洗口は週1回法と週5回法があり、各生活習慣に適した方法を選べます。低濃度ながら頻度が高いため、むし歯の予防効果も高いといわれています。

フッ素は**歯磨きがきちんとしてきた、きれいな歯にしか効果**がありません。そこで最近では、微量ですが歯磨きの中にもフッ素を配合するよう歯をきれいにする他に、ウガイをすることで、更にフッ素を歯の表面に取り込む効果を期待しています。

しかしながら、歯を完全にきれいにすることは非常に難しいです。そのため、3ヶ月に1回のフッラシソングキョクとフッ素塗布を行うことに加え、毎日の歯磨きと、フッ素洗口を併用することで、相乗効果でおむし歯予防を行うのが最も有効です。

当院でも販売しているフッ素入り歯磨剤と併用して、お使いになってみてはいかがでしょうか？

現在のところ「**バトラー洗口液**」などがフッ素洗口用に販売されています。



そよかせ歯科医院の URL
<http://soyokaze-dc.com/>

今月のスタッフ紹介

歯科医師 **皆葉 裕**

はじめまして、皆葉です。
ちなみに読みは「みなば」です。
5月からこちらでお世話になっています。
より良い治療を心がけ、明るく清潔な診療室を作りたいと思います。
よろしくお願ひします。



院長より

今回まで3回にわたり、むし歯予防処置で最も効果のある「フッ素」の、効果と歯に対する取り込み方法についてお伝えしました。

フッ素は歯の主成分のカルシウム(リン酸カルシウム)と結合することで、人間の組織の中で最も硬くなります。さらに、むし歯菌から発生する酸(乳酸)に対しても抵抗性(溶けない)を増します。

文中でも述べましたが、この「フッ素」はきれいに磨かれた歯にしか作用しません。これがもっとも重要です！

現在、歯科をはじめとする医療系においては、必要最小限の病的組織の除去、疾病に対する予防処置、さらには、組織の再生医療が多く唱われております。

フッ素は有力な予防処置であり、さらには、ごく初期のむし歯に対する組織の再生効果があると言われております。

歯の健康に有効な、この「フッ素」の効果について更に詳しく知りたい方や生活習慣に併せたフッ素予防法について興味がある方はスタッフにお気軽にお申し付けください。

次回からは必要最小限の病的組織(むし歯)の除去、修復方法についてわかりやすくまとめる予定です。